

第2回みんなのまちづくり部会 審議内容の確認について

審議テーマ	審議の方向性に関わる主な意見（第2回部会で出された意見）
<p>1 地域で身近な防災力（歴史・環境から学ぶ）</p> <p>○災害時の安全確保のため、川崎区の歴史や環境を踏まえ防災を考える必要がある。</p>	<p>(1) 防災に関する意識が高くなっている</p> <p>ア 区民アンケートでは、防災に関する問題意識が非常に高くなっている。</p> <p>(2) 既存のものを活かすなど、できる範囲で防災掲示板を設置する必要がある</p> <p>イ 小学校や中学校でどこに避難したら良いかわからない場合がある。町会などの掲示板を利用して知らせることが考えられる。</p> <p>(3) 市や区で取り組んでいないことを整理し、区民会議で審議する</p> <p>ウ 防災については、できること、できないことを整理し、地域に優しい防災づくりや地域に身近な防災づくりなどの視点で検討することが重要だと思う。</p> <p>エ 川崎区の避難場所マップなど、いろいろな種類があるので、事務局にどんな種類があるか一覧表の作成をお願いしたい。そこで漏れている部分を区民会議で検討することが良いと思う。</p> <p>オ 防災については、危機管理室や区の防災会議で検討されているので、役割分担が必要である。</p> <p>(4) 川崎区の歴史や地名、環境を踏まえて防災対策を検討する</p> <p>カ 川崎区の歴史からみると災害時にどこが安全な場所かわかる。防災について歴史から学ぶことも必要である。</p> <p>キ 防災については、環境を配慮した防災や歴史を配慮したルートなど考慮した2つのテーマに絞ったら良いのではないか。</p> <p>ク 防災については、先人の知恵に学ぶこと、歴史から学ぶことが必要だと思う。</p> <p>ケ 川崎区は川や橋が多く、地名になっているところがある。防災にも絡むので歴史を知っておく必要がある。</p> <p>コ 地域で身近な防災まちづくりとして、視点に歴史、環境を入れる。解決策としては、具体的な堤防植樹や備蓄、水源の問題を検討したらどうか。</p> <p>(5) 安全な建物とそうでない建物を知る必要がある</p> <p>サ 学校やマンションが耐震構造かどうか分かっていない。</p> <p>シ 津波の時の避難場所は、高い建物の上と考えられるが、屋上に出られない建物が多い。このため、津波の時の避難方法など仕組みを検討する必要がある。</p>
<p>2 コミュニティバス導入の促進（観光と福祉の向上）</p> <p>○誰もが区内を安全に安心して移動できるようにするため、福祉や観光の視点を入れたコミュニティバスの導入方法を検討する必要がある。</p>	<p>(6) 観光、高齢者の移動、自転車対策の視点を入れてコミュニティバスを検討する</p> <p>ス 住みやすい交通網づくりということでコミュニティバスに取り組んだらどうか。観光の問題、高齢者の交通手段の問題、自転車対策にもなると思う。</p> <p>セ コミュニティバス導入については、高齢者が病院へ行きやすくすることや区内の名所を回れるなど、福祉や観光の視点を入れる必要がある。</p> <p>(7) コミュニティバスの具体的な運営方法を検討する必要がある</p> <p>ソ コミュニティバスの運営形態をどうするのか、誰が運営資金を集め、誰がバスを走らせ、誰が運転をするのかということを検討することが必要である。</p> <p>タ コミュニティバス導入については、運営主体、具体的なルートなど運営方法を検討する必要がある。</p>